

経営発達支援事業評価シート

評価基準 A: 目標を達成することができた(100%以上)
 B: 目標を概ね達成することができた(80%~99%)
 C: 目標を半分程度しか達成することができなかった(30%~79%)
 D: 目標をほとんど達成することができなかった(30%未満)

1. 経営発達支援事業の内容

事業	項目	令和4年度		実施した事業実績	評価
		目標	実績		
1. 地域の経済動向調査に関すること	①RESAS活用データの公開活用	1回	1回	データは事業計画策定に活用しており、体験セミナー開催し利用を促進した。	A
	②龍泉洞の観光客等の動向情報の公開回数	12回	12回	毎月提供により把握している。ホームページでグラフに示し公開している。	A
	③全国・地域動向情報公開回数	4回	4回	中小企業景況調査(15社・年4回)	A
2. 需要動向調査に関すること	①消費者ニーズ調査結果の提供の提供件数	5社	6社	コロナ感染症に伴う影響調査、キャッシュレス調査(独自3回)実施。計画策定に活用。	A
	②地域外に販路を求める需要動向調査	5社	5社	取引先から需要動向を把握。ネットショップのデータを収集して解析した。	A
	ア. 岩泉まつたけ事業者対象者数	3社	4社	ネットショップの購入に関する分析のレビュー及びカタログ業者のヒアリング	A
	イ. いわいずみ炭鉱ホルモン鍋対象者数	2社	2社	コロナ禍で、本会予算でホルモン隊に支援を実施。ネットショップ支援のみで帯同支援叶わず。	A
	③商談会及び展示会の需要動向調査	4社	110社	モコレ出展74社及び食の商談会35社、「結の場」6社から需要動向を把握した。	A
	ア. 各種食品の支援対象者数	2社	2社	いわて食の商談会(仙台)出展支援、復興庁「結の場」WEB商談支援実施。	A
	イ. 木材関連の支援対象者数	2社	4社	モコレは、ネット及びリアル出展により成約4社、成約の可能性ありが8社。	A
3. 経営分析に関すること	①経営分析件数	40件	40件	事業者の経営改善や補助金申請、政策執行者として事業計画が必要な際には経営分析の支援を行った。	A
4. 事業計画策定支援に関すること	①事業計画策定件数	18社	23件	持続化補助金、事業再構築、経営革新等の事業計画の策定件数。	A
	②事業承継計画策定件数	2社	1件	事業承継アンケートやヒアリングによって状況把握しているが継承計画は1件のみ。	C
	合計	20社	23件	上記の件数の合計	A
5. 事業計画策定後の実施支援に関すること	フォローアップ対象者事業者数	20社	33件	事業計画を策定した事業者や計画実施中の事業者等のフォローアップを展開。	A
	頻度(延回数)	80社	94社	事業計画を策定した全ての事業者を対象に四半期毎の支援を目指している。	A
	売上の増加事業者数	5社	7社	事業計画が順調に推移し、売上増加が確認できる。	A
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること	①岩泉まつたけのブランド化の推進支援対象事業者数	7社	7社	岩泉まつたけのブランド化を図る組合員及び対象者の支援。	A
	ア. 新たな成約件数/社	1社	3社	JRはこびユンで販売、ネットショップを通じ首都圏の飲食店に販売。	A
	イ. 松茸小屋開催によって売上増加	20万円	35万円	松茸小屋の目標達成が1社。季節限定品の強みを活かした出展者拡充の可能あり。	A
	②いわいずみ炭鉱ホルモン鍋の出展事業者数	3社	3社	ホルモン鍋発掘隊に協力し県内イベント販売の売上が増加。	A
	売上増加額/社	10万円	120万円		A
	③広葉樹木材製品の販売促進支援事業者数	2社	4社	製材所2社、家具製造販売2社を支援。	A
	成約件数/社	1社	4社	オリジナル製品の制作注文、出展商品成約あり。	A
	④岩泉の食の販売促進支援による事業者数	2社	3社	JRはこびユン、いわて食の商談会、結の場WEB商談にて新商品の取引成立	A
	成約件数/社	1社	4社	JR東日本商事、ネットショップ(首都圏飲食店)、県内スーパー、仙台百貨店、成約。	A